

令和8年度 生活環境部の運営方針

生活環境部長

浅羽 淳




生活環境部の組織体制	
市民課	環境推進課
下水道課	水道課
小笠市民課	



基本方針





- 国民健康保険及び後期高齢者医療制度の健全な運営を行うために、加入者の健康増進に努め、保険税及び保険料の適正な徴収事務を執行します。
- 廃棄物の適正処理や2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、再エネの創出や、省エネの徹底など、地球温暖化対策を推進するとともに、循環型社会の構築に取り組みます。
- 下水道の整備及び合併処理浄化槽の設置促進により、適切な生活排水処理を進め、河川等の水質向上に努めます。
- 水道施設の計画的な整備、維持管理を実施し、健全経営を継続していくとともに、安全で安定した水道水の供給に努めます。





重点的に取り組む施策・事業



1	住民サービスの向上 (市民課)	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう			
現状・課題	<p>窓口業務は、正確な事務処理、親切・丁寧な接遇が求められるほか、マイナンバー制度を利用した手続きの簡素化、迅速化にも対応していくなど、市民ニーズに応じた窓口サービスを展開し、市民の利便性や満足度を向上させていく必要があります。窓口の顔となる窓口業務委託は、令和9年度からの方向性を定める年となります。</p> <p>マイナンバーカードは、健康保険証としての利用やコンビニでの各種証明書の交付などで利用されており、令和8年度には、有効期限を迎えたカード・電子証明書の更新件数が急増することから、これら手続きへの適切な対応が求められます。</p> <p>また、振り仮名に係る届書が提出されない戸籍への振り仮名一括記載を行う必要があります。</p>	<p>①窓口業務委託内容を確定し、委託事業者を決定します。</p> <p>②戸籍への振り仮名一括記載及びその後の住民票への振り仮名記載等を完了します。</p>				
	<p>マイナンバーカードの交付・更新申請について、引き続き休日交付や窓口での申請補助・写真撮影サービス等を実施するとともに、明るいあいさつと丁寧な説明で「おもてなしの心」あふれる窓口サービスの提供ができるよう、窓口業務委託の内容を検討し、業務委託を実施します。</p> <p>また、戸籍への振り仮名一括記載を実施します。</p>					
取組内容						

2 国民健康保険事業及び後期高齢者医療制度事業の健全な運営（市民課）						
現状・課題	<p>国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者が健康な日常生活を続けるためには、できるだけ多くの方に、特定健診や人間ドックを受診していただき、市の保健事業や保健指導を充実することで、被保険者の疾病の重症化予防等を図る必要があります。</p> <p>また、国民健康保険財政の安定的な運営を確保するため、保険給付に見合った保険税率の適正な設定に取り組む必要があります。</p> <p>後期高齢者医療制度では、保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みを実施し、地域や個々の状況に応じたきめ細かな対応を行っていく必要があります。</p>				達成目標	<p>国民健康保険運営協議会を年3回以上開催し、国民健康保険税率の適正な設定に取り組めます。</p>
取組内容	<p>健康維持のためには、定期的な健康状態のチェックが大切なことから、被保険者に健康診断や人間ドックの受診を促します。また、生活習慣病予防、慢性疾患予防及び医療費抑制のため、特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者健康診査を実施します。</p> <p>国民健康保険事業の安定的な運営が継続できるよう、国民健康保険運営協議会において適正な税率設定について審議します。</p>					

3 ごみ減量対策の推進（環境推進課）					
現状・課題	<p>地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減し、環境負荷の少ない持続可能な社会を構築すること、また、資源の有効活用を推進し循環型社会を構築することを目指し、より一層のごみ削減に取り組む必要があります。</p> <p>また、廃棄物削減については家庭系、事業系の両面からアプローチしていく必要があります。</p>			達成目標	<p>①事業系ごみ削減に向けて、食料品小売店及び飲食店への訪問指導を24事業所以上行います。 （令和7年度実績：17事業所）</p>
取組内容	<p>事業所のごみの削減を目指し、食料品小売店を中心に訪問し、食品ロスや事業系廃棄物の状況確認、指導を行います。</p> <p>また、飲食店（食品衛生協会）を中心に食品ロス削減の協力を呼びかけます。</p> <p>さらにこれまで可燃ごみとして排出されていた製品プラスチックの分別回収を開始し、再商品化することで循環型社会を構築します。</p>			達成目標	<p>②家庭系ごみ削減に向けて、出前講座を24回以上行います。 （令和7年度実績：32回）</p>

4 地球温暖化対策の推進（環境推進課）						
現状・課題	<p>地球温暖化による気候変動は世界的な脅威となっており、菊川市においても地球温暖化対策を行っています。地球温暖化対策を推進するために令和5年3月に策定した「菊川市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」及び令和6年3月に策定した「同計画【区域施策編】」に掲げる目標を達成するため、市と市民、事業者すべてが協力しあい着実に事業を進める必要があります。</p>				達成目標	<p>菊川市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】を改定し、市ホームページで公表します。</p>
取組内容	<p>「菊川市地球温暖化対策実行計画」【区域施策編】について、国が新たに示した温室効果ガス削減目標値に沿った計画となるよう見直しを行います。</p>					

5 生活排水対策の推進 (下水道課)						
現状・課題	<p>快適な生活環境や河川菊川の水質向上のため、公共下水道事業区域の整備完了に向け着実に管渠整備を進めるとともに、合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水対策を推進することにより、汚水処理人口普及率の向上に取り組む必要があります。</p> <p>また、人口減少などに伴う厳しい経営環境や施設の老朽化などの課題に対し、より一層の効率的な運営を行う必要があります。</p>				達成目標	<p>令和8年度に予定している計画面積20haの管渠工事を完了し、公共下水道の供用を開始します。</p>
取組内容	<p>令和8年度までの期間となっている第4期公共下水道事業認可区域の整備を完了し、公共下水道の供用を開始するとともに、合併処理浄化槽設置費補助事業を引き続き実施します。</p> <p>また、令和7年度から実施している菊川市下水道事業審議会で使用料改定の協議を進めるとともに、公共下水道の効率的な運営と汚水処理の持続可能性確保に向けた検討のため、汚水処理施設整備構想(アクションプラン)の見直しを行います。</p>					

6 水道水の安定供給 (水道課)						
現状・課題	<p>水道を取り巻く現状として、これまでの拡張整備を前提とした時代から既存の水道基盤を確固たるものとしていくことが求められる時代に変化しており、人口減少社会による使用料収入の減少や管路の老朽化の進行など、多くの課題に直面しています。</p> <p>ライフラインに欠かせない水道水を、将来にわたり安全で安定的に供給するため、老朽管の更新や耐震化を進めるとともに水道施設・設備を計画的に更新するなど、適切な維持管理を行っていく必要があります。</p> <p>また、水道事業の健全経営を今後も継続するために、近隣市や大井川圏域において、共同発注などの広域化に向けた協議を進めていく必要があります。</p>				達成目標	<p>水道基幹管路の耐震化率を56.20%にします。 (令和7年度実績：56.02%)</p>
取組内容	<p>水道水の安定的な供給を維持するため、老朽化した基幹管路や水道施設について管路耐震化・更新計画に基づき管路等の更新整備を推進します。</p> <p>また、今後の安定的な水道事業経営を遂行するため、令和7年度から実施している菊川市水道料金審議会で料金改定の協議を進めます。あわせて、東遠広域化検討会や大井川圏域検討会などにおいて、業務の共同発注や広域化に向けた協議を継続していきます。</p>					